

官民対話検討事案概要書

項目	記入欄
1. 団体名	愛媛県 今治市 教育委員会事務局 教育大綱推進課
2. 事業名	学校施設LED化の一括整備事業
・事業内容 ※事業の内容をご記入下さい	○今治市立小中学校（全41校）の照明をLEDに更新する事業 ・照明灯のLED化は2か年での整備を想定 ・タブレット端末の使用に適した必要照度を確保したい 【参考】学校環境衛生の基準（平成30年度版） コンピュータを使用する教室等の机上の照度： 500～1000Lx 程度
・事業実施で重視する点	○タブレット端末の使用に適した必要照度の確保 ○地元事業者の活用
・事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1. 新設 2. 建替え 3. 改修 4. 管理運営のみ 5. 公有地活用 6. 包括委託 7. その他（ リース、ESCO等 ）
・施設等の用途	小学校・中学校
3. サウンディングの目的	○上記「事業内容」で、民間活力の活用が可能かどうか、民間事業者の意見をお伺いしたい。 ○想定している2か年の事業期間で全校一括の整備が可能かどうか、民間事業者の意見をお伺いしたい。 ○性能発注を想定しており、事業手法について、様々なご意見・ご提案をいただきたい。
4. 事業対象地の概要	
① 所在地（交通情報含む）	今治市内小学校26校、中学校15校 ※所在地は別紙（1. 事業対象地（施設）の位置図）参照
② 敷地面積	別紙「施設概要」のとおり
③ 土地利用上の制約	今治市内小学校26校、中学校15校
④ 所有者	今治市（一部借用地あり）
⑤ 周辺施設等	今治市内小学校26校、中学校15校
⑥ 対象地周辺の一般的なイメージ	今治市内小学校26校、中学校15校
⑦ その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	特にありません

5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 施設名称	別紙「施設概要」のとおり	
② 施設の延床面積		
③ 建物の構成(構造、階数)		
④ 主な施設の内容、導入機能		
⑤ 運営状況 (運営主体、事業手法等)		
⑥ その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
① 施設名称		
② 規模、能力 等		
③ 運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④ その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
6. 事業環境		
① 人口、高齢化率	151,672 人、高齢化率 53.9% (令和 2 年国勢調査より。今治市全体の数値) ※高齢化率＝老年人口÷(総人口－年齢不詳人口)	
② 対象地周辺の人口構成	別紙「令和 2 年国勢調査結果」のとおり	
③ 市民意見等	特にありません	

7. 事業関連																	
① 現状及び課題	<現状> ○LED化の遅れ 本市が所有する公共建築物では新築物を除きLED化を行った事例がなく、全国的なLED化の流れと比較すると遅いと言わざるを得ない。 ○LED化の進捗 <table><tr><td></td><td>校舎</td><td>体育館</td><td>計</td></tr><tr><td>小学校</td><td>0校</td><td>4校 (立花小、国分小、波方小、上浦小)</td><td>4校</td></tr><tr><td>中学校</td><td>0校</td><td>1校 (大三島中)</td><td>1校</td></tr><tr><td>計</td><td>0校</td><td>5校</td><td>5校</td></tr></table> ○水銀ランプ（体育館で使用）の製造・輸出入禁止 2013年「水銀に関する水俣条約」が締結され、2020年以降、規制値以上の水銀を使った製品の製造・輸出入が禁止されている。 ○LED照明に関する国・メーカーの方針 国のエネルギー基本計画で2030年までにLED照明などの次世代照明の100%の使用率を目指す方針が示されたこともあり、各照明メーカーは蛍光灯の生産を終了し、ホームページ等でLED照明への交換を促す周知文を掲載している。 <課題> ○一括LED化するための手法の検討 エネルギー基本計画で示された2030年より前倒しして、事業を完成させるため、全校一括で発注することを検討している。そのため、参入意欲を持った民間事業者がどの程度いるか、どのような整備手法が適切か等、専門的な知見を踏まえた検討が課題となっている。		校舎	体育館	計	小学校	0校	4校 (立花小、国分小、波方小、上浦小)	4校	中学校	0校	1校 (大三島中)	1校	計	0校	5校	5校
	校舎	体育館	計														
小学校	0校	4校 (立花小、国分小、波方小、上浦小)	4校														
中学校	0校	1校 (大三島中)	1校														
計	0校	5校	5校														
② 目的、考え方・基本方針	<目的> ○環境負荷の低減 電気使用量の削減は温室効果ガス排出量の削減につながるため、消費電力の小さいLED照明の導入により、環境負荷の低減を図る。																

	<考え方・基本方針> ○小中学校（校舎・屋内運動場）照明器具のLED化 ○国方針（2030年までにLED照明などの次世代照明の使用率100%）の前倒し達成 ○GIGAスクール構想で必要な照度を確保 小中学校施設の殆どは昭和50年代に建築されたものであり、各教室の照明器具台数は、建設当時の基準に基づくものである。<u>GIGAスクール構想によるタブレット端末を用いたICT教育が始まったことで、各教室が備えるべき照度を見直す必要が生じてきた。</u> <u>必要照度に満たない環境でタブレット端末を使った授業を続けることは、子どもたちの視力低下に繋がるため、早急に対応すべきと思われる。</u>
③ 前提条件	○工事期間 学校施設であるため、工事は土日、長期休暇中等、授業に影響のない期間に実施する必要がある。 ○地元事業者との連携 後日の保守管理が必要となるため、LED化の施工は地元事業者と連携して実施していただきたい。
④ 事業スケジュール(案)	令和5年4月：サウンディング調査 令和6年1月：入札公告（予定）(R7年度整備完了予定)
8. 対話内容 ※意見・提案を求める内容をご記入ください。	○学校施設の照明LED化に関する参入意欲 ○2か年の事業期間で全校一括の整備が可能かどうか ○LED化についての効果的な実施手法 ○地元事業者との連携の可能性
9. 対話を希望する業種 ※該当する番号に○(複数可) 注)希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません。	1. 設計 2. 建設 3. ビル管理 4. 金融 5. 保険 6. 不動産 7. 運営 8. その他 (リース事業者、ESCO事業者)

■ 関連情報

関連情報等がございましたら、できる範囲で資料を添付してください。詳細情報を開示することで事業者の関心度が高まることが期待されます。

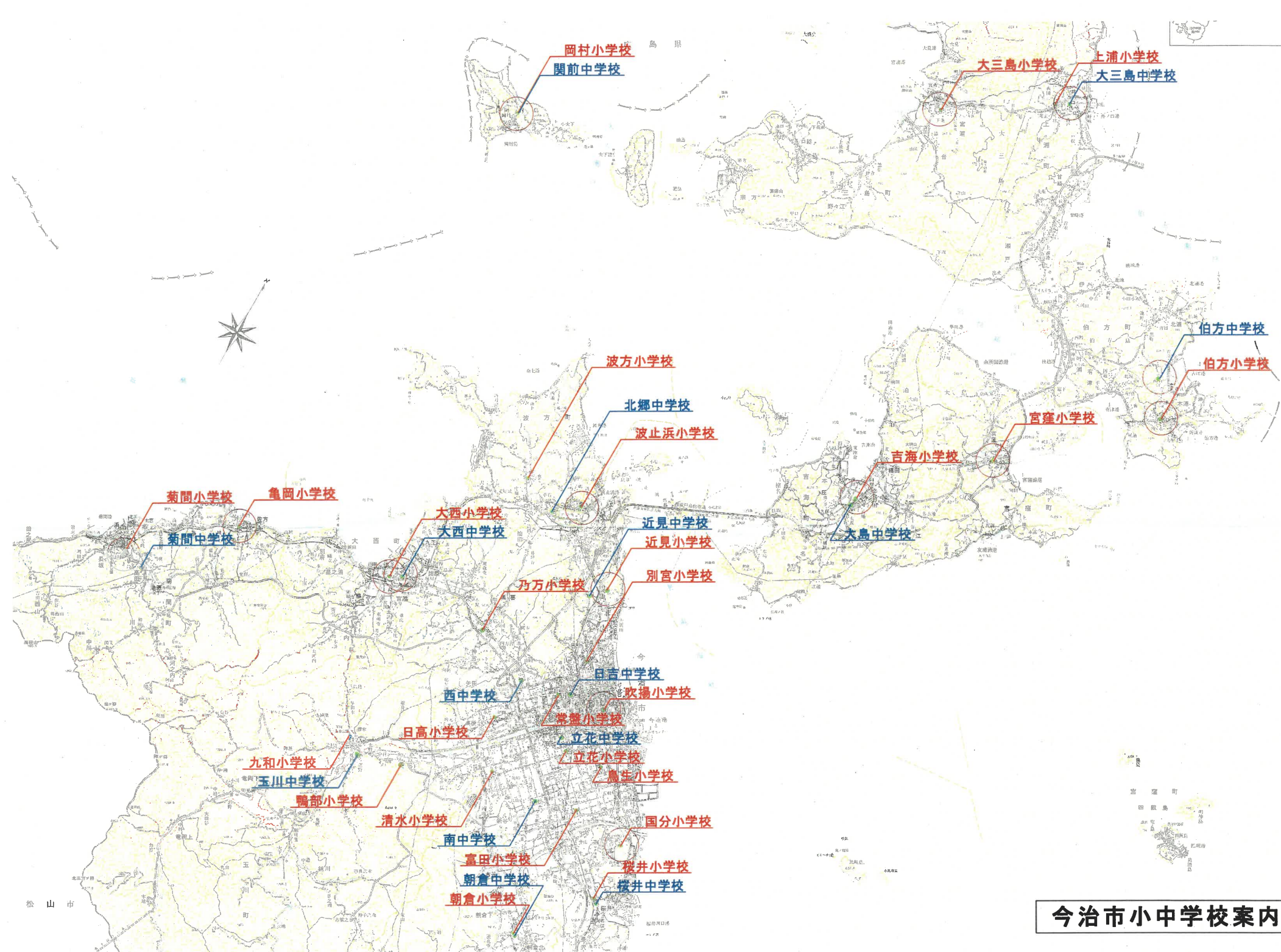
関連情報 ※添付する資料に○	1. 事業対象地（施設）の位置図 2. 事業対象地（施設）の周辺情報 3. 事業対象地（施設）の現況写真 4. 既存事業の稼働状況（施設概要、電力契約一覧、建物使用状況、消費電力量） 5. その他（学校一覧）
------------------------------	---

■ 連絡先

団体名	今治市
住所	別宮町 1-4-1
部署名	今治市教育委員会事務局 教育大綱推進課
役職	主事
氏名	檜垣 和志
電話番号	0898-36-1611
メールアドレス	kyouikut@imabari-city.jp
備考	上記の住所は市本庁舎の住所であり、教育大綱推進課の住所は次のとおり 〒794-0027 今治市南大門町 2-5-1 第3別館 2階

以 上

今治市小中学校案内図



学校紹介

01_吹揚小学校



所在地：今治市黄金町3丁目3番地

TEL：0898-22-0689

校長：岡田 敏樹

教頭：村上 才一



【学校の現況】

校地面積	16,102 m ²	児童数	390 人
（うち運動場	7,037 m ² ）	学級数	15 教室
校舎面積	7,576 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,400 m ²	教職員	40 人

【特色】

愛媛県の北東部・瀬戸内海のほぼ中央部に位置する今治市の市街地中心部に校区を要する吹揚小学校は、平成 27 年 4 月に、長い歴史と伝統を誇った 4 校が統合してできた学校である。

地域は、昔から教育に対する関心が高く、「子どもは地域の宝、地域の子どもは地域で育てる」という考えの下、学校が核となって人々の絆を結びつける活動が粛々と行われている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成 27 年 4 月 開校

平成 29 年 8 月 防球ネット設置

令和 2 年 3 月 空調設備整備事業

令和 3 年 3 月 校内通信ネットワーク整備

02_別宮小学校



所在地：今治市別宮町5丁目1番地7

TEL：0898-32-0688

校長：手塚 淳

教頭：越智 和生



【学校の現況】

校地面積	17,282 m ²	児童数	231 人
（うち運動場	7,537 m ² ）	学級数	11 教室
校舎面積	5,271 m ²	通級指導	3 教室
屋内運動場	1,061 m ²	教職員	25 人

【特色】

今治市の中心部からやや北に位置し、JR 今治駅と今治港に比較的近い。市街地を南北に流れる浅川の両側に東西約 1km、南北に約 2km と近見山麓から美保海岸へと続く細長い校区である。PTA 活動・公民館及び各種団体の活動が非常に活発で、様々な行事を計画し、児童の健全育成を進めている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

大正 12 年	4 月	第四尋常高等小学校設立	平成 27 年	3 月	児童クラブ棟落成
昭和 22 年	4 月	今治市立別宮小学校に改修	令和 2 年	2 月	校内通信ネットワーク整備
平成 3 年	3 月	レンガ塀を生け垣に改修	令和 2 年	3 月	普通教室空調設備工事
平成 3 年	10 月	和室改造工事完成			
平成 4 年	3 月	東門改修			
平成 7 年	2 月	コンピュータ教室設置			
平成 11 年	8 月	相撲場移転			
平成 12 年	3 月	給食調理場完成			
平成 19 年	2 月	ブロックをフェンスに改修			
平成 26 年	12 月	校舎耐震化補強工事			

学校紹介

03 常盤小学校



所在地：今治市中日吉町二丁目 6 番 55 号

TEL：0898-22-0477

校長：大澤 誠二

教頭：野間 浩



【学校の現況】

校地面積	18,024 m ²	児童数	492 人
(うち運動場	11,379 m ²)	学級数	22 教室
校舎面積	6,007 m ²	(うち特別支援学級	5 教室)
屋内運動場	1,061 m ²	教職員	42 人

【特色】

本校は、昭和 3 年以来、植樹や花いっぱい運動に力を入れ、美しい教育環境の整備を推進し、校歌にもあるスズカケノキを中心に、緑に包まれた学校の伝統を維持している。周辺に私立幼稚園、市立中学校、県立・私立高校や市立中央図書館などが集まる文教地区の中心に位置し、保護者や地域の学校教育への関心が高いところである。中庭では、今治空襲の戦火で焼けたにもかかわらず奇跡的に生き残ったスズカケノキが毎年緑の葉を茂らせ、宇宙メダカの子孫が水槽で泳いでいる。また、大正時代、子どもたちのヒーローだった「猿飛佐助」の原作者山阿鉄は、校区ゆかりの人である。保護者や地域の人々の協力を得て、たくましく、未来に夢を持ち、気力に満ちた子どもの育成を目指すとともに、教職員がワーク・エンゲイジメント(熱意・没頭・活力)を意識して、教育活動を展開する。

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

昭和 3 年	4 月	第 5 尋常小学校創立	平成 30 年	11 月	本館校舎改修工事完了
昭和 22 年	4 月	今治市立常盤小学校と改称	令和 2 年	3 月	普通教室エアコン設置工事完了
平成 2 年	10 月	本館大規模改修	令和 2 年	8 月	屋内運動場トイレ改修工事完了
平成 7 年	8 月	パソコン教室設置	令和 2 年	10 月	電子黒板配備(5・6 年生教室)
平成 8 年	8 月	屋上防水工事	令和 3 年	3 月	GIGA スクール端末配備
平成 13 年	8 月	西通用門扉設置			

04 近見小学校



所在地：今治市近見町一丁目 5 番 1 号

TEL：0898-22-0258

校長：武田 明敏

教頭：脇阪 由美



【学校の現況】

校地面積	20,162 m ²	児童数	285 人
(うち運動場	6,845 m ²)	学級数	13 教室
校舎面積	4,965 m ²	(うち特別支援学級	2 教室)
屋内運動場	1,138 m ²	教職員	25 人

【特色】

本校は、明治 23 年の創立以来、132 年続く伝統校である。近見山と来島海峡・燧灘に抱かれた伊賀山の中腹にあり、豊かな自然環境に恵まれている。このような恵まれた環境を生かして、体験的な活動や交流活動を積極的に取り入れ、自ら学ぶ力、生きてはたらく力、豊かな心の育成を目指している。地域ぐるみで児童や学校の安全・安心を確保するとともに、「明るく楽しい学校づくり」「地域に愛される学校づくり」「豊かな人間関係の構築」「一人一人に応じた温かい学習指導や生徒指導」などに力を入れている。

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

明治 23 年	5 月	近見尋常小学校開校	平成 8 年	7 月	防災施設設置
昭和 2 年	2 月	木造 2 階建東校舎完成	平成 11 年	3 月	学校給食調理場竣工
昭和 29 年	7 月	西校舎改築	平成 26 年	1 月	近見小学校校舎耐震補強工事完工
昭和 32 年	3 月	本館 1 部・西校舎の残部改	令和 2 年	6 月	空調設備設置(各教室)
昭和 46 年	3 月	本館校舎完成	令和 3 年	2 月	校内通信ネットワーク整備事業
平成 3 年	1 月	本館校舎大規模改造	令和 3 年	3 月	本館校舎改修工事
平成 7 年	2 月	コンピュータ室完成	令和 3 年	6 月	歩道橋塗装工事

学校紹介

05_立花小学校



所在地：今治市立花町四丁目 3 番 45 号

TEL：0898-22-0185

校長：亀田 義彦

教頭：吉田 和仁



【学校の現況】

校地面積	15,426 m ²	児童数	463 人
(うち運動場)	6,874 m ²	学級数	19 教室
校舎面積	5,965 m ²	(うち特別支援学級)	4 教室
屋内運動場	1,224 m ²	教職員	39 人

【特色】

「立花っ子の合言葉」の理念を基本に、人と人との豊かな関わり合いを基盤として、「共有」のキーワードの下、保護者・地域とベクトルを合わせて一体となり、未来を生き抜く力を育成する。教育目標を「自ら考え行動し共にかがやく児童の育成」とし、家庭・学校・地域・幼・中・高がそれぞれの役割を担い、連携・協力していくことで、「楽しくて、みんなが行きたいと思える笑顔で元気いっぱいの学校」を作っていきたい。

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

明治 20 年	3 月	尋常小学校として設立	平成 25 年	7 月	第 3 校舎耐震補強工事
昭和 60 年	3 月	校舎改築、給食調理場竣工	平成 30 年	8 月	普通教室・特別教室等扇風機設置
平成元年	11 月	防球ネット完成	平成 30 年	9 月	防災行政無線屋外スピーカー設置
平成 9 年	8 月	第 1 校舎裏フェンス工事	平成 30 年	10 月	体育館改修工事
平成 17 年	7 月	第 1 校舎耐震補強工事	令和元年	3 月	空調設備整備
平成 18 年	7 月	第 1 校舎屋上防水工事等	令和 2 年	10 月	校舎改修工事
平成 20 年	6 月	体育館入口屋上防水工事	令和 3 年	3 月	タブレット及び保管庫、校内 LAN 設置
平成 20 年	7 月	第 3 校舎壁面一部補強工事	令和 3 年	8 月	教室用電子黒板設置
平成 23 年	8 月	屋内運動場屋根修繕			

06_鳥生小学校



所在地：今治市南高下町三丁目 3 番 71 号

TEL：0898-33-1221

校長：渡辺 務

教頭：越智 泰樹



【学校の現況】

校地面積	20,367 m ²	児童数	451 人
(うち運動場)	12,428 m ²	学級数	18 教室
校舎面積	4,711 m ²	(うち特別支援学級)	5 教室
屋内運動場	822 m ²	教職員	36 人

【特色】

PTA をはじめとして地域の方々は、様々な教育活動に積極的にかかわり、協力的である。また、本校では、科学が好きな子どもを育てる理科教育の推進や地域特産の鳥生レンコンの栽培体験など、これまでに自然や地域に学ぶ学習を展開してきた。こうした体験的な学習を通して、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を図り、「蓮のように、どっしりと根を張り、立派に自分の花を咲かせる“はすっ子”」を育てる教育の具現化を目指して取り組んでいく。

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

昭和 52 年	4 月	今治市立鳥生小学校創立	平成 21 年	3 月	職員用コンピュータ整備
昭和 56 年	6 月	運動場西側フェンス完成	平成 21 年	8 月	AED 設置(体育館)
昭和 59 年	9 月	夜間照明、防球ネット完成	平成 21 年	8 月	IP 電話導入
昭和 60 年	7 月	東側排水路完成	平成 21 年	11 月	電子黒板導入
平成 3 年	8 月	通用門設置(東門、西門)	平成 22 年	11 月	防球ネット修理
平成 7 年	2 月	コンピュータ 10 台置	平成 22 年	12 月	地デジ対応ケーブル設置
平成 11 年	7 月	タイヤの塔撤去	平成 23 年	11 月	体育館西側フェンス設置
平成 11 年	8 月	A 棟プール側ベランダ補修	平成 26 年	1 月	防災無線アンテナ設置
平成 13 年	5 月	太陽光発電システム設置	平成 26 年	1 月	校舎耐震化完了
平成 14 年	3 月	コンピュータ及びインターネット整備	平成 26 年	8 月	特別支援学級エアコン取付
平成 16 年	2 月	C 棟非常階段完成	平成 27 年	8 月	校舎大庇・ベランダ修理
平成 18 年	8 月	B 棟非常階段取り替え	平成 30 年	1 月	防水工事等
平成 18 年	10 月	車いす用スロープ完成	令和 2 年	3 月	空調設備整備事業完了
平成 18 年	10 月	中庭外灯設置	令和 3 年	3 月	校内 LAN 整備事業工事完了
平成 20 年	8 月	児童用コンピュータ整備			

学校紹介

07_桜井小学校



所在地：今治市郷桜井一丁目 8 番 26 号

T E L：0898-48-0217

校長：山口 峰松

教頭：松本 正春

【学校の現況】

校地面積	17,542 m ²	児童数	349 人
（うち運動場	9,191 m ² ）	学級数	16 教室
校舎面積	5,064 m ²	（うち特別支援学級	4 教室）
屋内運動場	1,060 m ²	教職員	29 人



【特色】

学校創立以来、伝統的に継承しているもの（家庭や地域に根ざした学校）

ア 創立 150 年の歴史を継承した校訓「強く 正しく 美しく」の具現化

イ 「ユウカリ」・「サギソウ」・「志島ヶ原」の愛護とボランティア活動の推進

ウ 地域の人材を生かした学習、地域の関係施設等との交流活動の充実

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 6 年	1 月	一番小学校を設立	平成 15 年	8 月	北校舎、日よけコンクリート撤去
昭和 4 年	12 月	全校舎移転改築（現在地へ）	平成 27 年	2 月	校舎耐震工事完成
平成 8 年	4 月	飲料水兼耐震性貯水槽設置	平成 31 年	3 月	北校舎多目的トイレ完成
平成 10 年	8 月	南校舎屋根改修その他工	令和 2 年	1 月	調理場通路スロープ完成
平成 11 年		屋内運動場外壁改修	令和 2 年	3 月	普通教室 エアコン設置
平成 14 年	9 月	家庭科室改修、校舎電灯増設	令和 2 年	9 月	北校舎改修
平成 15 年	7 月	児童クラブ施設新設			

08_国分小学校



所在地：今治市古国分二丁目 7 番 1 号

T E L：0898-47-2050

校長：小澤 裕之

教頭：里本 明美

【学校の現況】

校地面積	23,345 m ²	児童数	224 人
（うち運動場	10,487 m ² ）	学級数	11 教室
校舎面積	4,409 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	997 m ²	教職員	25 人



【特色】

本校は、昭和 56 年に桜井小学校から分離・開校し、創立 42 年を迎える。学校は、唐子台団地の住宅街の中にありながら、唐子山や唐子浜等の豊かな自然に恵まれている。また、校区内には奈良時代に創建された伊予国分寺の塔跡や戦国時代の国分山城跡等の史跡が多い。近年、ゆるやかな児童数の減少傾向が続いている。

保護者や地域の人々は、学校に協力的で、自然を生かした栽培活動や教育ボランティア活動、子どもの安全対策、防災・減災等にも積極的に取り組んでいる。

本年度は、学校の教育目標に迫るため、地域のすばらしさを感じさせるとともに、豊かな感性を持ち、共に学び合い支え合う児童の育成を目指して研究に取り組んでいる。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 56 年	4 月	桜井小学校より分離、開校	平成 27 年	10 月	校舎耐震工事
昭和 57 年	3 月	屋内運動場、プール、増築校舎、正門竣工	平成 31 年	1 月	屋内運動場吊り天井等落下防止対策工事完了
平成 2 年	8 月	中庭ふじ棚竣工	令和 2 年	3 月	空調設備整備事業竣工
平成 11 年	4 月	知的障害児学級設置			
平成 17 年	4 月	情緒障害児学級設置			
平成 22 年	3 月	相撲場の改修			

学校紹介

09_富田小学校



所在地：今治市上徳甲 394 番地 4

T E L：0898－48－6169

校長：藤原 勝彦

教頭：中下 康

【学校の現況】

校地面積	15,723 m ²	児童数	574 人
(うち運動場	6,685 m ²)	学級数	23 教室
校舎面積	6,042 m ²	(うち特別支援学級	4 教室)
屋内運動場	1,061 m ²	教職員	38 人



【特色】

- (1) 他者とのかかわる力と共生の心の育成 『やさしい子』の育成
- (2) 体験活動の工夫と心身の健康増進
- (3) 分かる授業の展開と学習習慣の形成 『進んで学ぶ子』の育成

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

明治 23 年	5 月	富田村立尋常高等小学校創立	平成 27 年	12 月	耐震工事完了
明治 28 年	10 月	現在の校地に新築移転	平成 29 年	11 月	体育館天井耐震工事完了
平成 2 年	11 月	コンピュータ室開設	令和元年	7 月	エアコン取付工事着工
平成 27 年	4 月	屋内運動場放送設備入替工事	令和 2 年	2 月	プールろ過機交換工事着工・完了
平成 27 年	8 月	体育館時計調節装置取替	令和 3 年	9 月	GIGA スクール構想ネットワーク工事

10_清水小学校



所在地：今治市五十嵐甲 13 番地 3

T E L：0898－22－2556

校長：松岡 洋子

教頭：徳永 伸也

【学校の現況】

校地面積	15,044 m ²	児童数	376 人
(うち運動場	8,678 m ²)	学級数	16 教室
校舎面積	5,061 m ²	(うち特別支援学級	4 教室)
屋内運動場	820 m ²	教職員	30 人



【特色】

- (1) よく考える児童の育成
- (2) 思いやりのある児童の育成
- (3) 心も体も元気な児童の育成

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

明治 20 年	3 月	五十嵐尋常小学校設立	平成 30 年	外トイレ、3 棟東玄関庇補修
平成 2 年	6 月	校舎並びに給食調理場落成	平成 30 年	下水道接続工事
平成 5 年	11 月	相撲場完成	平成 30 年	体育館周辺ブロック塀改修工事
平成 6 年	11 月	「ふれ愛っこ」池完成	令和元年	普通教室エアコン工事完成
平成 7 年	8 月	第 2 棟大規模改修工事	令和 2 年	体育館トイレ洋式工事
平成 27 年		耐震補強工事等	令和 3 年	電子黒板配備

学校紹介

11_日高小学校



所在地：今治市別名 446 番地 2

T E L：0898-22-2548

校長：井原 聡博

教頭：川崎 文一

【学校の現況】

校地面積	15,056 m ²	児童数	546 人
（うち運動場	7,835 m ² ）	学級数	22 教室
校舎面積	4,718 m ²	（うち特別支援学級	4 教室）
屋内運動場	820 m ²	教職員	40 人



【特色】

- 1 地域に愛され信頼される学校づくりの推進
- 2 確かな学力を育てる教育の推進
- 3 豊かな心を育てる教育の推進
- 4 健やかな体を育てる教育の推進

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 23 年	6 月	日高小学校 開校	昭和 56 年	増改築校舎落成
明治 43 年		校地移転校舎建築（移築）	平成 23 年	本館耐震化工事
昭和 33 年		講堂増築（87.85 坪増）	平成 24 年	本館サッシ交換、トイレ改修工事
昭和 43 年		鉄筋校舎竣工	令和元年	普通教室エアコン工事
昭和 53 年		校舎増築（11 教室）	令和 3 年	電子黒板、タブレットパソコン導入
昭和 55 年		屋内運動場落成		

12_乃万小学校



所在地：今治市延喜甲 349 番地

T E L：0898-32-2569

校長：秋山 恵美

教頭：大沢 勇司

【学校の現況】

校地面積	12,618 m ²	児童数	688 人
（うち運動場	5,042 m ² ）	学級数	27 教室
校舎面積	5,439 m ²	（うち特別支援学級	4 教室）
屋内運動場	872 m ²	教職員	41 人



【特色】

本校区には、宝篋印塔をはじめ継ぎ獅子など、歴史的・文化的に価値の高い遺跡や文化財が数多く残っている。また、日本の在来馬である「野間馬」が保護・飼育されている「のまうまハイランド」やカスミサンショウウオが生息している地域があることでも有名である。これらの物的資源や人的資源を効果的に教育活動に取り入れ、体験的な学習の充実を図ることにより、生きる力の育成を図ることができると考えられる。

一方、国道 196 号線が校区の中心を貫き、学校に隣接する神宮交差点では日高・玉川地域と波止浜・波方地域とを結ぶ県道 155 号線と交わり、市内でも有数の交通量となっている。さらに、しまなみ海道へのインターチェンジがあり、今治新都市地域にも隣接しているなど、発展著しい地域である。したがって、命を大切にする教育や防災教育を含め、実態に応じた安全教育を進めていく必要がある。

近年は、理科・生活科を核にして積み重ねてきた実践を生かし、研究を深化させてきた。これからも、豊かな体験と本物のふれあい、人と人の温かい関わり合いを基盤とし、生きる力を育成するため、教職員一人一人のキャリアステージに応じた指導力の向上を目指していきたい。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 8 年		近見学校と称し開設	平成 20 年	6 月	プール完成
昭和 40 年		第 1・2 期校舎増築工事完成	平成 25 年	7 月	南校舎建設開始
平成 5 年	3 月	乃万給食調理場完成	平成 26 年	11 月	新校舎落成、体育館床改修工事
平成 6 年	3 月	コンピュータ設置（11 台）	平成 27 年	1 月	新校舎屋上太陽光発電設備
平成 13 年	8 月	東校舎ベランダ手すり取替	平成 28 年	1 月	耐震補強及び改修工事
平成 14 年	3 月	コンピュータ設置（22 台）	平成 30 年	2 月	南校舎教室増設工事開始
平成 14 年	8 月	屋内運動場屋根、下水工事	平成 30 年	9 月	避難誘導標識看板設置
平成 15 年	8 月	西校舎水道工事 雨桶工事	平成 30 年	11 月	体育館放送設備改修工事
平成 17 年	2 月	東校舎屋上防水工事	令和 2 年	2 月	空調設備工事
平成 18 年	8 月	エアコン設置	令和 2 年	5 月	空調増設工事
平成 19 年	8 月	東校舎、西校舎一部改造			

学校紹介

13_波止浜小学校



所在地：今治市地堀一丁目3番40号

TEL：0898-41-9049

校長：宇高 淑文

教頭：松本 拓司

【学校の現況】

校地面積	14,809 m ²	児童数	298 人
（うち運動場	6,742 m ² ）	学級数	15 教室
校舎面積	4,445 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,061 m ²	教職員	30 人



【特色】

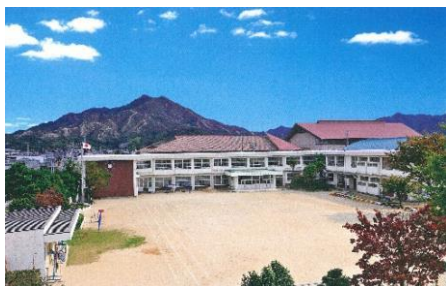
本校は今治市の中心より約6km北西に位置し、南に近見山、東に瀬戸内海国立公園系山、北には桜の名所波止浜公園に囲まれている。国指定の名勝「来島海峡」が目前にあり、県指定のウメバガシの樹林、厳島神社の継ぎ獅子等、古い歴史と伝統豊かな文化財がある。300年の歴史を誇る塩田跡地には各種産業が栄え、北洋蟹工船で栄えた船主の旧宅、過去における先人の偉業をたたえる記念碑が点在し、児童の未来への大きな希望と誇りを高めている。特に造船業が発展し、海事都市「今治」の中核基地となっている。

このような豊かな地域素材を教育活動に生かし、（１）地域文化の教育力（２）地域産業の教育力（３）地域人材の教育力を柱に、コミュニティ・スクールとして地域一丸となって学校運営を行い、特色ある教育を展開している。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治20年	4月	波止浜尋常小学校創設	平成25年	8月	桜組教室エアコン設置
平成3年	8月	下水排水工事	平成26年	9月	運動場西側排水管理設
平成4年	2月	汚水処理場解体	平成28年	9月	タブレットPC40台導入
平成5年	3月	新体育倉庫落成	平成28年	10月	Wi-fi接続工事
平成10年	6月	給食調理場完成	平成29年	3月	3-6年教室プロジェクト設置
平成13年	8月	本館屋根設置完成	平成29年	7月	扇風機設置(36台)
平成14年	4月	コンピュータ室LAN導入	平成29年	11月	正門前アスファルト埋設
平成16年	10月	プール改修工事	平成30年	3月	体育館屋根修理
平成17年	11月	職員トイレ改修工事	平成30年	10月	体育館床一部張替工事
平成21年	7月	保健室電話工事	平成31年	1月	西門横ブロック塀撤去、フェンス設置
平成21年	12月	電子黒板設置	令和2年	3月	通常教室空調設備設置
平成22年	4月	北校舎女子洋式トイレ設置	令和2年	6月	体育館洋式トイレ設置工事
平成23年	4月	北校舎男子洋式トイレ設置	令和2年	7月	防水シャッター修繕工事
平成24年	1月	総合遊具改修工事	令和2年	11月	水道レバーハンドル取替
平成24年	10月	南校舎改修工事終了			

14_朝倉小学校



所在地：今治市朝倉北甲281番地

TEL：0898-56-2004

校長：進藤 亮輔

教頭：長井 奈津子

【学校の現況】

校地面積	8,970 m ²	児童数	167 人
（うち運動場	3,300 m ² ）	学級数	9 教室
校舎面積	2,449 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	648 m ²	教職員	22 人



【特色】

- 校訓「仲よく 正しく 美しく」のもと、朝倉小学校が地域の教育・文化の中心となり、心のよりどころとなるよう、教職員がその責務を自覚し、英知を結集し、教育の充実を図る。
- 9年間を見通した基本的学習習慣の定着や授業交流等により、密接な小中連携を推進する。
- 朝倉の美しい自然、豊かな文化と歴史、児童を見守り育てる人々や関係機関と連携を深め、地域の教育力を生かし、地域ぐるみの教育を推進する。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成26年	4月	今治市朝倉小学校開校	平成29年	8月	屋内運動場屋根改修工事
平成28年	8月	校訓碑設置、タイヤ山撤去	令和2年	7月	空調施設運用開始

学校紹介

15_鴨部小学校



所在地：今治市玉川町中村甲 574 番地 1

T E L : 0898-55-2115

校長：菅 洋二

教頭：梅林 勇一



【学校の現況】

校地面積	11,792 m ²	児童数	87 人
(うち運動場)	5,065 m ²	学級数	7 教室
校舎面積	1,925 m ²	(うち特別支援学級)	1 教室
屋内運動場	759 m ²	教職員	19 人

【特色】

本校は、今治市玉川町東南部に位置し、明治 23 年（1890 年）の創立以来、豊かな自然環境、歴史と伝統、温かい人間関係に恵まれた教育環境の中で、子どもたちは明るく健やかに成長している。

〔地域とともに生きるふるさと学習〕

生活科や総合的な学習の時間における、鴨部地域を中心とした豊かな体験活動を通して、自然や文化、人々と触れ合う中で、郷土のよさを再発見し、郷土に生きる人間としての在り方を考えるとともに、ふるさとを愛する心を育てている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 20 年	4 月	常盤尋常小学校設立	平成 9 年	10 月	校舎北側下駐車場完成
昭和 22 年	4 月	玉川村立鴨部小学校となる	平成 28 年	8 月	校舎耐震工事
昭和 53 年	9 月	新校舎落成	平成 30 年	3 月	体育館天井耐震工事
昭和 54 年	8 月	屋内運動場落成	令和 2 年	7 月	木造校舎解体工事開始
平成 1 年	3 月	玄関前庭園完成	令和 2 年	11 月	体育倉庫竣工
平成 8 年	11 月	校舎南側上駐車場完成			

16_九和小学校



所在地：今治市玉川町摺木甲 71 番地 1

T E L : 0898-55-2117

校長：木村 勇二

教頭：川上 梓



【学校の現況】

校地面積	11,244 m ²	児童数	100 人
(うち運動場)	7,131 m ²	学級数	11 教室
校舎面積	2,393 m ²	(うち特別支援学級)	5 教室
屋内運動場	884 m ²	教職員	25 人

【特色】

本校は、明治 20 年摺木尋常小学校として創立され、明治 22 年の学制改革による九和小学校となった。昭和 44 年に竜岡小学校を、平成 10 年に鈍川小学校を統合し、今年度創立 132 年になる伝統ある学校である。

校区は、今治市玉川町の北東部に位置しており、山地が多くを占めている。その豊かな森林資源を活用して産業が行われている。また、玉川ダムを有する蒼社川が流れ、河岸段丘の地形が見られる。支流の河川には清流が流れ、初夏にはホタルが舞うなど、豊かな自然に恵まれるとともに、地域には伝承されている文化や行事も数多く残っている。

本校では、地域の豊かな自然や文化に深くふれあう機会をもたせ、『ふるさと玉川』のよさを再認識させるための「ふるさと学習」の推進に取り組んでいる。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 22 年	4 月	九和村立九和小学校となる	平成 12 年	4 月	総合遊具撤去
昭和 47 年	5 月	校地西側埋立工事	平成 18 年	8 月	児童クラブ校舎完成
昭和 53 年	3 月	普通教棟竣工	平成 20 年	8 月	校内下水道整備工事
昭和 54 年	1 月	特別教棟竣工			

学校紹介

17_波方小学校



所在地：今治市波方町養老甲 803 番地の 1

T E L：0898-41-9122

校長：金子 剛志

教頭：土岐 志朗

【学校の現況】

校地面積	17,761 m ²	児童数	229 人
（うち運動場	9,325 m ² ）	学級数	13
校舎面積	5,310 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,401 m ²	教職員	29 人



【特色】

瀬戸内海に突き出た高縄半島の最北端に位置する今治市波方町は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、昔から海上交通の要所であり「造船と海運の町」として発展してきた。また、本校は、旧越智郡波方町内にある唯一の公立小学校であり、地域を挙げて学校の教育活動を支えてくれている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 7 年		波方小学校開校	平成 16 年	1 月	倉庫及びトイレの新築工事
明治 20 年		校舎落成	平成 18 年	1 月	体育館アスベスト除去工事
昭和 39 年		バックネット完成	平成 24 年	8 月	屋内運動場屋根改修工事完成
昭和 52 年		北棟、玄関棟、管理棟建築	平成 25 年	9 月	校舎耐震工事完成
昭和 53 年		体育館、給食棟建築	平成 29 年	1 月	体育館フロア修繕工事完了
平成 2 年	3 月	コンピュータ室増築完了	平成 31 年	1 月	屋内運動場吊り天井等落下防止工事
平成 3 年	8 月	遊具・鶏舎新設、バックネット改修	平成 31 年	3 月	ブロック塀安全対策工事完了
平成 13 年	8 月	屋根防水、地震災害復旧工事等	令和 2 年	3 月	空調設備整備事業完了
平成 14 年	8 月	体育館床改修工事	令和 2 年	3 月	管理棟等工事完了
平成 15 年	11 月	多目的教室増改築工事	令和 4 年	3 月	家庭科室調理台蛇口交換(10 箇所)

18_大西小学校



所在地：今治市大西町大井浜 103 番地

T E L：0898-53-2037

校長：馬越 敏

教頭：高見 恵美

【学校の現況】

校地面積	15,568 m ²	児童数	335 人
（うち運動場	4,558 m ² ）	学級数	15 教室
校舎面積	5,155 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	870 m ²	教職員	32 人



【特色】

本校は、昭和 41 年に大井小学校と大西小学校が統合して発足し、今年度で 57 年を迎える。

豊かな自然環境の中で、創意あふれる活動を実践し、何事にも自ら取り組む心豊かな児童の育成を目指してきた。また、以下の四つのことに特に重点を置き、本校の教育活動を保護者や地域に発信し、理解や協力を得るように努めている。そして、地域の教育力を積極的に活用しながらその特徴を生かし、地域に根ざした教育の推進を実践している。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 12 年		大井小学校開校	平成 7 年	12 月	本館 2 階、3 階水道管改修工事完成
昭和 41 年	4 月	大西町大西小学校に統合	平成 10 年	10 月	本館、特別教室棟大規模改造工事
昭和 42 年	7 月	校舎新築完成	平成 16 年	2 月	本館西、体育館東入口バリアフリー工事
昭和 43 年	10 月	屋内運動場の落成	平成 22 年	9 月	体育館耐震工事
昭和 59 年	5 月	防球ネット設置	平成 24 年	7 月	新館耐震補強工事
昭和 60 年	2 月	新館裏庭に遊具設置 (5 個)	平成 31 年	3 月	フェンス新設工事完了
昭和 63 年	3 月	プール完成	令和 2 年	3 月	空調設備工事完了
平成 2 年	6 月	運動場東ブロック塀改修工事	令和 3 年	3 月	校内通信ネットワーク工事
平成 5 年	8 月	本館屋上手摺り取替工事完成			

19_亀岡小学校



所在地：今治市菊間町種 52 番地

TEL：0898-54-2163

校長：村上 道子

教頭：新居田 貴祐

【学校の現況】

校地面積	9,734 m ²	児童数	40 人
（うち運動場	3,900 m ² ）	学級数	5 教室
校舎面積	3,354 m ²	（うち特別支援学級	1 教室）
屋内運動場	762 m ²	教職員	15 人



【特色】

亀岡は、「みどり・みかんと瓦とエネルギーの町」と言われ、特に瓦工業は伝統産業になっている。また、石油備蓄法により、我が国に 3 か所建設された地下石油備蓄基地の一つが平成 6 年に完成した。この基地の近くには、石油精製工場もあり、伝統産業と新しい工業が入り交じる地区になっている。

亀岡の教育の特色は、当時から一貫して「地域に学び地域で育てる教育」の理念にある。この伝統は今も生き、児童は、地域の人たちの温かい心と美しい自然に包まれて育っている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 44 年	4 月	亀岡尋常高等小学校設立	平成 28 年	5 月	屋内運動場耐震補強及び改修工事
昭和 62 年	2 月	新校舎移転	平成 31 年	2 月	ブロック塀安全対策工事
平成 7 年	3 月	プール完成	令和 1 年	8 月	空調整備事業工事
平成 15 年	2 月	菊間町イントラネット整備	令和 2 年	9 月	校内通信ネットワーク整備事業
平成 17 年	1 月	今治市立亀岡小学校に改称			

20_菊間小学校



所在地：今治市菊間町長坂 2000 番地 1

TEL：0898-54-2025

校長：伊藤 篤志

教頭：近藤 健介

【学校の現況】

校地面積	16,178 m ²	児童数	101 人
（うち運動場	7,114 m ² ）	学級数	8 教室
校舎面積	4,405 m ²	（うち特別支援学級	2 教室）
屋内運動場	1,189 m ²	教職員	19 人



【特色】

菊間町（人口：5,302 人 R3.3.31 現在）は、「みどりと瓦とエネルギーの町」である。主産業の石油精製・瓦製造のほか、農畜産業、チリメン等の沿岸漁業もおこなわれている。菊間瓦は 750 年以上の歴史があり、国道沿いには工場が林立する。最近では、装飾品や日用品等の商品開発など、新しい挑戦も始まっている。加茂神社礼祭には、「お供馬の走り込み」（県指定無形文化財）があり、継獅子や神輿、牛鬼も繰り出す。他にも、遍照院（四国八十八番外札所）など 30 を超える寺社があり、信仰心が厚い地域住民によって守られている。また、菊間町隣保館では、小学生隣保館学習会（交流促進講座開催事業）があり、本校教諭の指導のもと、人権学習・文化生産的活動・補充学習等を行っている。

これらの恵まれた環境を生かし、生活・社会・理科、総合的な学習の時間等において、家庭や地域と連携し、様々な場を通じて児童が主体的・対話的な学びを実現する授業改善に取り組んでいる。また、人権・同和教育を学校経営の基盤に据え、全教育活動で、人間尊重の精神の涵養、物事に対する正しい見方・考え方を育成することを通して、仲間意識に支えられた集団づくりを推進している。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 6 年	1 月	菊間学校設立	平成 22 年	7 月	体育館耐震工事
大正 12 年	5 月	校舎移転落成（現在地）	平成 25 年	3 月	フェンス支柱撤去工事完了
昭和 50 年	3 月	体育館落成	平成 30 年	3 月	体育館雨漏り修繕
昭和 59 年	2 月	新校舎落成	令和 2 年	6 月	公衆電話撤去
平成 5 年	10 月	コンピュータ教室設置	令和 2 年	8 月	給食室シャッター取替工事
平成 16 年	11 月	体育館周りフェンス設置	令和 2 年	11 月	水道バ－取替、校内インター取替

学校紹介

平成 19 年 11 月 遊具修理
平成 21 年 11 月 電子黒板設置

令和 3 年 1 月 ネットワーク関係試験工事
令和 3 年 2 月 イントラネット網変更工事

21_吉海小学校



所在地：今治市吉海町八幡 157 番地

TEL：0897-84-2609

校長：高浜 武

教頭：木山 博文

【学校の現況】

校地面積	14,464 m ²	児童数	64 人
（うち運動場	5,481 m ² ）	学級数	7
校舎面積	3,312 m ²	（うち特別支援学級	1 教室）
屋内運動場	1,206 m ²	教職員	18 人



【特色】

- （１）地域に根ざした教育の推進（ふるさとを愛する心の育成）
- （２）心を育てる活動の推進
- （３）大島地区小中学校共通目標の推進
- （４）特別支援教育の充実

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 54 年	4 月	吉海小学校設立	平成 28 年	2 月	防球ネット設置
平成 4 年	2 月	学校給食センターの新築・移転	平成 28 年	11 月	校舎耐震・渡り通路工事
平成 7 年	9 月	パソコン室の設置	平成 30 年	2 月	屋上防水工事完了
平成 11 年	8 月	パソコン室ネットワーク整備	令和 2 年	3 月	空調設備設置
平成 12 年	3 月	遊具設置			

22_宮窪小学校



所在地：今治市宮窪町宮窪 4765 番地

TEL：0897-86-2117

校長：菅 征永

教頭：八木 伸浩

【学校の現況】

校地面積	17,096 m ²	児童数	67 人
（うち運動場	5,500 m ² ）	学級数	8 教室
校舎面積	3,797 m ²	（うち特別支援学級	2 教室）
屋内運動場	1,039 m ²	教職員	21 人



【特色】

宮窪町は、良質の花崗岩である大島岩の産地として知られている。付近の海では潮流にもまれたおいしい魚介類が獲れ、漁業も盛んである。過疎化・高齢化が進んでいるが、能島城跡、村上海賊ミュージアム、水軍レース、潮流体験等、地域の特色を生かした観光にも力を入れている。

本校は、宮窪町の自然や文化のよさを教育活動に取り入れ、保護者や地域の協力を得ながら、自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成に努めている。大島地区学校運営協議会の設置により、運営協議会の意見を受けて大島地区の 3 小中学校で協力しながら、地域を誇りに思う児童の育成にも取り組んでいる。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 40 年	3 月	宮窪小学校新校舎竣工	平成 22 年	9 月	運動場完成
昭和 41 年	3 月	屋内運動場竣工	平成 31 年	3 月	防球ネット補修工事
平成 1 年	8 月	運動場及び排水溝整備	平成 31 年	4 月	プール工事
平成 5 年	9 月	パソコン教室設置	平成 31 年	4 月	エレベーター機階段転落防止策工事
平成 8 年	8 月	パソコン室エアコン設置	令和 2 年	3 月	空調設備整備（エアコン設置）
平成 14 年	3 月	インターネット基盤整備	令和 2 年	11 月	電子黒板（2 台）設置
平成 21 年	12 月	校舎移転作業	令和 3 年	3 月	学習用タブレット設置

23_伯方小学校



所在地：今治市伯方町木浦甲 3599 番地 2

TEL：0897-72-0030

校長：脇阪 順三

教頭：日浅 良二

【学校の現況】

校地面積	14,150 m ²	児童数	196 人
（うち運動場	6,400 m ² ）	学級数	9
校舎面積	3,897 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,165 m ²	教職員	23 人



【特色】

本校区は、風光明媚な瀬戸内しまなみ海道の通る伯方島に位置し、豊かな自然環境に恵まれ、古くから海運、造船等の地元企業が多く、保護者の職業は多様である。島しょ部の中では都会的な傾向が強く、学校教育への期待が大きいとともに、協力的である。

平成 19 年 4 月に島内 4 小学校が統合し、16 年目を迎えた。それぞれの学校の伝統やよさを生かしながら、教育目標「自ら考え 心豊かに たくましく生きる児童の育成」の実現のために、「進んで学ぶ子の育成・心豊かな子の育成・たくましい子の育成」の三つの重点目標を設定し、全教育活動を通して達成を目指している。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成 19 年	4 月	4 小学校が統合	令和 1 年	8 月	空調工事
平成 26 年	8 月	防災無線装置を設置	令和 2 年	10 月	畑前擁壁工事
平成 27 年	2 月	浄化槽を撤去	令和 2 年	12 月	タブレット保管庫設置工事
平成 28 年	3 月	校舎外壁雨漏り補修工事	令和 3 年	7 月	電子黒板端末搬入
平成 29 年	3 月	登り棒設置、テレビ入替	令和 3 年	8 月	タブレット PC インターネット回線切替

24_上浦小学校



所在地：今治市上浦町井口 4497 番地 1

TEL：0897-87-2011

校長：三好 春彦

教頭：渡邊 秀樹

【学校の現況】

校地面積	12,242 m ²	児童数	57 人
（うち運動場	6,260 m ² ）	学級数	8
校舎面積	2,636 m ²	（うち特別支援学級	2 教室）
屋内運動場	814 m ²	教職員	17 人



【特色】

今治の最北、大三島の東部に位置する今治市上浦町は、島と海の美しい自然に囲まれた風光明媚な景勝地として知られ、しまなみ海道の中央部、広島県との県境を臨んでいる。また、校区には文化勲章を受章した村上三島氏の書を数多く所蔵する記念館や多々羅大橋等、国外、県外からもたくさんの来訪がある観光地としても知られている。本校は、平成 11 年の小学校 3 校による合併に伴い、上浦小学校として発足した。古くからの地域との強い結び付きを生かし、学年や年齢を超え、また学校の垣根を越えて地域と共に子どもたちを育む学校としての特徴を有している。そこで、本校教育の特色として、次のことに取組んでいる。

- 教科・教科外学習の充実、特別支援教育や人権・同和教育の推進
- ふるさと「上浦」を素材にした体験的な活動や地域学習、環境の推進
- 笑顔と温かさ、安心・安全な学校づくりの推進

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成 11 年	4 月	上浦町立上浦小学校 開校	令和元年	7 月	空調設備整備
平成 14 年	4 月	シャワールーム、玄関スロープ設置	令和 3 年	1 月	校内通信ネットワーク工事
令和元年	7 月	体育館吊り天井等落下防止工事			

25_大三島小学校



所在地：今治市大三島町宮浦 5145 番地

TEL：0897-82-0027

校長：高杉 秀夫

教頭：石丸 孝雄

【学校の現況】

校地面積	12,291 m ²	児童数	79 人
（うち運動場	6,794 m ² ）	学級数	6 教室
校舎面積	2,193 m ²	（うち特別支援学級	0 教室）
屋内運動場	911 m ²	教職員	13 人



【特色】

本校校区は、自然環境、文化財や史跡、伝統行事など、豊かな教育環境に恵まれている。また、保護者や地域の人たちは、学校教育に対して大変協力的であり、温かい雰囲気の中で、児童は心身ともに健やかに育っている。令和 3 年度よりコミュニティ・スクールも立ち上がり、より組織的に、より協働的に教育活動を推進できるようになっている。

このような地域性を踏まえ、地域教材を生かした体験的な活動や地域の人材を生かした交流活動を積極的に取り入れ、ふるさと大三島を大切に思う心やより良くしていこうとする実践的態度を育成していく。

次代を担う児童の育成を、学校や保護者だけではなく、地域ぐるみで行っていくことにより、「日本一楽しい学校 ～児童・保護者・教職員・地域のだれもが楽しいと思う学校～」を創っていきたいと考えている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成 16 年	4 月	大三島小学校 開校	令和 3 年	3 月	校内通信ネットワーク工事
令和元年	7 月	空調設備整備			

26_岡村小学校



所在地：今治市関前岡村甲 415 番地

TEL：0897-88-2531

校長：青葉 茂

教頭：

【学校の現況】

校地面積	2,725 m ²	児童数	4 人
（うち運動場	1,448 m ² ）	学級数	2 教室
校舎面積	1,228 m ²	（うち特別支援学級	0 教室）
屋内運動場	758 m ²	教職員	4 人



【特色】

本校は、広島県との県境に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた離島の小規模校である。校舎は 1 階が小学校、2 階が中学校の小中併設である。また、保護者や地域の人々は、学校教育に協力的で、地域学習や各種団体との交流活動では温かい支援を得ることができる。しかし、近年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまで培われてきた交流活動を実施することが難しい状況である。コロナ禍においても、恵まれた地域や学校の特性を生かし、小中学校が一体となって、9 年間を見据えた教育活動を展開することができるように、実施可能な教育活動を実践する。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

明治 9 年	岡村小学校 開校	令和 3 年	3 月	3 階外側雨どい修繕、門扉設置
明治 15 年	本校舎新築	令和 3 年	7 月	屋外トイレ改修
令和 2 年	2 月 配膳室搬入路修繕	令和 4 年	2 月	屋上防水工事
令和 2 年	11 月 塔時計修繕			

27_日吉中学校



所在地：今治市中日吉町一丁目3番70号

TEL：0898-22-0731

校長：門岡 達也

教頭：正岡 宗昭

【学校の現況】

校地面積	21,334 m ²	生徒数	463 人
（うち運動場	13,239 m ² ）	学級数	17 教室
校舎面積	7,539 m ²	（うち特別支援学級	4 教室）
屋内運動場	1,205 m ²	教職員	41 人



【特色】

- 様々な体験の場を設定し、豊かな活動を通して主体性を育み、連帯感を高めます
- 言語活動の充実を図り、語学力を中心とした学力向上を目指します
- 学校だよりやホームページ等による情報発信に努めます
- PTA・地域・関係諸団体と連携し、地域に根ざした学校をつくります

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和22年	4月	第2中学校（仮称）として開校	平成2年	2月	増築校舎完成
昭和22年	6月	校名決定：日吉中学校	平成2年	6月	校舎改築
昭和22年	12月	日吉小学校仮校舎へ移転	平成25年	4月	日吉中学校開校（美須賀中と統合）
昭和27年	3月	新校舎落成	平成26年	11月	新校舎建屋完成
昭和30年	4月	増築新校舎落成	平成27年	3月	中庭・池・テニスコート完成
昭和52年	4月	屋内運動場落成	平成29年	2月	屋内運動場バスケットボール取替工事
昭和62年	3月	プール完成	令和2年	3月	全普通教室エアコン設置

28_近見中学校



所在地：今治市近見町四丁目2番57号

TEL：0898-22-1094

校長：高須 昌寿

教頭：藤原 信吾

【学校の現況】

校地面積	21,350 m ²	生徒数	178 人
（うち運動場	9,522 m ² ）	学級数	8 教室
校舎面積	5,202 m ²	（うち特別支援学級	2 教室）
屋内運動場	1,428 m ²	教職員	26 人



【特色】

本校は瀬戸内しまなみ海道を望む近見山の麓に位置し、豊かな自然に恵まれている。地域の人々は学校に協力的であり、教育に対する関心も高い。

本校では「近見の人・自然・産業に学ぼう」をテーマに、以下のような活動を総合的な学習の時間に位置付け、生徒自らが課題を設定し、追究していく学習を通して「生きる力」の育成に努めている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和22年	4月	第3中学校として創立	昭和56年	4月	プール工事竣工
昭和22年	6月	今治市立近見中学校と改称	昭和62年	3月	屋内運動場落成
昭和24年	7月	校舎落成式	平成7年	2月	柔剣道場落成
昭和40年	4月	体育館竣工	平成27年	12月	校舎耐震工事完了
昭和43年	10月	運動場拡張工事	令和2年	3月	全普通教室エアコン設置
昭和51年	3月	特別教室（6教室）竣工	令和3年	3月	校内通信ネットワーク整備竣工
昭和55年	3月	校舎増改築工事竣工			

29_立花中学校



所在地：今治市立花町二丁目8番7号

TEL：0898-32-1095

校長：白石 裕太

教頭：片山 泰彦

【学校の現況】

校地面積	20,804 m ²	生徒数	454 人
（うち運動場	10,151 m ² ）	学級数	16
校舎面積	6,776 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,400 m ²	教職員	39 人



【特色】

(1) 自ら学ぶ態度を育てる学習指導の推進

ア 学習三則の徹底と視写活動による語彙の蓄積 イ つまづきや理解度に合わせた個別指導の実施

ウ GIGA スクール端末を活用した授業改善 エ「Let's Study 勉強のすすめ」を活用した家庭学習の定着と充実

(2) 自他を大切にすることを育てる教育の推進

ア 人権感覚が身に付き高められる教育活動 イ 道徳的実践力の育成 ウ SDGs の学習と実践

(3) 強い意志と体力を培う教育の推進

ア コミュニティ・スクールの機能を生かした豊かな体験活動

イ 日常的教育活動及び部活動の中で健康の増進と体力の向上 ウ 地域と協働で育てる規範意識と基本的な生活習慣

活習慣

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 22 年	4 月	第 4 中学校として創立	昭和 58 年	3 月	校舎増築竣工
昭和 22 年	6 月	立花中学校と改称	昭和 59 年	3 月	屋内運動場及びプール竣工
昭和 25 年	7 月	新校舎に移転	平成 16 年	2 月	第 2 運動場テニスコート完成
昭和 26 年	12 月	増築校舎落成	平成 25 年	12 月	防災無線設置
昭和 39 年	3 月	体育館竣工	平成 27 年	1 月	校舎耐震工事竣工
昭和 45 年	8 月	立花小中併用プール完成	平成 30 年	3 月	身障者用トイレ設置
昭和 49 年	2 月	増築鉄筋校舎竣工	平成 31 年	2 月	校舎周辺ブロック撤去・フェンス設置
昭和 56 年	3 月	校舎建築竣工	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置

30_桜井中学校



所在地：今治市郷桜井一丁目8番8号

TEL：0898-48-0150

校長：木村 晴彦

教頭：徳永 竜夫

【学校の現況】

校地面積	19,678 m ²	生徒数	223 人
（うち運動場	8,499 m ² ）	学級数	8 教室
校舎面積	6,026 m ²	（うち特別支援学級	2 教室）
屋内運動場	1,417 m ²	教職員	27 人



【特色】

校区に歴史的な文化遺産や自然の景勝地が多く、教育環境に恵まれている。地域の人々は、先人たちの努力によって築かれ、守り育てられてきたこれら文化遺産を子どもたちに伝え、残していこうとする強い願いを持っている。

そこで、本校では、地域社会の一員として、地域の歴史・文化を学ぶ地域学習や志島ヶ原の松を守る環境学習、アルミ缶回収による車椅子贈呈や福祉体験学習などに積極的に取り組み、地域の人々と交流できる学習を多く実施している。これらの活動を通して、思いやりのある生徒、感謝の心を持つ生徒、人のために尽くす生徒、さらには郷土を愛する生徒を育て、地域の人々の願いに応えていきたい。そのためにも、学校運営協議会で熟議を重ね、地域と学校との連携・協働体制の強化を図りたい。そして、地域人材を効果的に活用しながら、「子どもが真ん中で地域とともにある学校」を目指し、未来を拓く心豊かに「たくましく生きる生徒の育成」に努めたい。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 22 年	4 月	桜井中学校として発足	平成 27 年	4 月	校舎耐震補強及び改修工事
---------	-----	------------	---------	-----	--------------

学校紹介

昭和 62 年 4 月 屋内運動場・給食調理場落成 令和 2 年 3 月 全普通教室エアコン設置

31_南中学校



所在地：今治市松木 349 番地 1

TEL：0898-48-2546

校長：馬越 吉章

教頭：森谷 端

【学校の現況】

校地面積	22,130 m ²	生徒数	497 人
（うち運動場	7,033 m ² ）	学級数	18
校舎面積	6,450 m ²	（うち特別支援学級	5 教室）
屋内運動場	1,400 m ²	教職員	47 人



【特色】

本校区は今治平野の南東部に位置し、旧富田村と旧清水村からなる。新興住宅地が建設され、市のベッドタウン的な性格を持つ自然あふれる穏やかな環境である。また、本校は、富田総ぐるみこどもまもり隊をはじめとして、地域全体で子供を育てようとする温かな風土に支えられた教育活動を推進している。

○ 特徴的な取組

- (1) 確かな学力の定着を目指す学習指導
- (2) 心を育てる体験活動「福祉・ボランティア活動、青少年赤十字活動、職場体験」と関連付けた道徳教育の推進
- (3) 認め合い支え合う集団づくりを推進する学校行事

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 42 年	4 月	統合により南中学校と改称	平成 4 年	3 月	校舎増築及び柔剣道場落成式
昭和 43 年	8 月	校舎移転	平成 13 年	2 月	屋内運動場新築工事等竣工
昭和 44 年	10 月	体育館完成	平成 22 年	9 月	校舎改築計画 校舎完成入居
昭和 58 年	1 月	体育館改修工事（	平成 24 年	2 月	新校舎落成
昭和 60 年	3 月	プール完成	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置
昭和 61 年	3 月	第 2 運動場新設完成			

32_西中学校



所在地：今治市山路 554 番地 3

TEL：0898-22-0411

校長：小澤 和樹

教頭：中辻 拓

【学校の現況】

校地面積	22,407 m ²	生徒数	561 人
（うち運動場	9,442 m ² ）	学級数	18
校舎面積	6,615 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,400 m ²	教職員	55 人



【特色】

- (1) 生徒の実態
純朴で打てば響く生徒が多く、学習や自主活動等、何事にも一生懸命に取り組む。
- (2) 教育実践
ア 地域の良さに学び、地域の底力を生かした教育の推進
イ 喜びと感動のある教育活動の推進
ウ 小中連携による教育の推進

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 39 年	4 月	統合により西中学校と改称	平成元年	2 月	屋内運動場工事竣工
昭和 40 年	9 月	新校舎竣工	平成 3 年	1 月	柔剣道場竣工
昭和 42 年	3 月	体育館落成	平成 20 年	1 月	校舎地震補強工事完了
昭和 49 年	7 月	プール竣工	平成 20 年	9 月	校舎改修工事
昭和 53 年	3 月	増築校舎、浄化槽施設完成	平成 22 年	8 月	太陽光発電システム工事

学校紹介

昭和 58 年 3 月 第 3 校舎増築工事竣工 令和 2 年 3 月 全普通教室エアコン設置

33_北郷中学校



所在地：今治市中堀四丁目 1 番 1 号

T E L : 0898-41-9051

校長：木村 勝也

教頭：斧 純司

【学校の現況】

校地面積	23,553 m ²	生徒数	301 人
(うち運動場	12,168 m ²)	学級数	12
校舎面積	6,476 m ²	(うち特別支援学級	3 教室)
屋内運動場	1,232 m ²	教職員	34 人



【特色】

本校区は伝統や文化、豊かな自然環境に恵まれている。本校の生徒は明朗・快活で、運動部、文化部とも積極的に活動し、各種大会や審査会で優秀な成績を上げている。また、生徒会本部役員や園芸・ボランティア部を中心として、青少年赤十字活動やアルミ缶回収による車椅子贈呈等のボランティア活動に意欲的に取り組んでいる。

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

昭和 22 年	4 月	北郷中学校開校	平成 15 年	7 月	本館屋根張り替え工事完成
昭和 22 年	7 月	第 1 期校舎落成	平成 19 年	12 月	グランド照明改修工事完成
昭和 25 年	8 月	第 2 期校舎落成	平成 20 年	10 月	屋内運動場椅子台車改修
昭和 43 年	8 月	プール竣工	平成 25 年	9 月	本館屋上防水改修
昭和 53 年	11 月	新校舎完成	平成 26 年	8 月	高架水槽・トイレ壁取替
昭和 55 年	4 月	本館及 B 棟完成	平成 26 年	12 月	第 1 校舎耐震補強工事
昭和 58 年	3 月	屋内運動場竣工	平成 27 年	2 月	武道場建替
昭和 59 年	3 月	第 2 校舎増改築工事竣工	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置
平成 3 年	8 月	汚水処理槽撤去、駐輪場増設			

34_朝倉中学校



所在地：今治市朝倉北甲 273 番地

T E L : 0898-56-2016

校長：菅 達弘

教頭：谷口 京子

【学校の現況】

校地面積	25,945 m ²	生徒数	82 人
(うち運動場	16,224 m ²)	学級数	5
校舎面積	4,532 m ²	(うち特別支援学級	2 教室)
屋内運動場	1,431 m ²	教職員	24 人



【特色】

朝倉地域は、県北部高縄半島の東部に位置し、三方を山に囲まれ、中央を流れる頓田川流域を中心に開けた盆地である。『水と緑と文化の里』をキャッチフレーズに、昭和 31 年 3 月 31 日、上朝倉村と下朝倉村が合併し朝倉村となり、平成 17 年 1 月 16 日市町村合併に伴い今治市朝倉となった。

地域には『文化の里』にふさわしく野々瀬古墳群（七間塚古墳群は県指定史跡）、多伎神社古墳群（県指定史跡）、瀬戸内海国立公園の笠松山、金毘羅山満願寺、“智慧の文殊尊”を祭る竹林寺など多くの史跡名勝が点在している。

教育立村をめざし、施設・設備の充実に努力がなされ、地域内小中学校が連携して道徳教育や人権教育などに積極的に取り組んできた。また、「緑の少年団」の発祥の地として、多様な自然体験活動も実施されてきた。平成 15 年度に、校舎改築がなされ「夢の学校」として現校舎が完成し、平成 17 年今治市との合併により、今治市立朝倉中学校として新たなスタートをきった。平成 26 年には上朝・下朝の 2 小学校が統合し、地域内は、一小学校・一中学校となった。廃校となった上朝小学校跡地に JFA アカデミー今治が誘致・開校され、平成 27 年から同アカデミー女子生徒の本校入学が始まった。

【沿革】(ハード整備関係抜粋)

昭和 41 年	4 月	統合により朝倉中学校創設	平成 16 年	3 月	新校舎屋内運動場、図書館棟等完成
平成 15 年	8 月	新校舎管理棟完成	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置

35_玉川中学校



所在地：今治市玉川町高野甲 21 番地

TEL：0898-55-2019

校長：松岡 洋介

教頭：福永 順子

【学校の現況】

校地面積	14,374 m ²	生徒数	91 人
（うち運動場	7,929 m ² ）	学級数	5
校舎面積	4,303 m ²	（うち特別支援学級	2 教室）
屋内運動場	1,316 m ²	教職員	22 人



【特色】

かつて、蒼社川の上流、栖原山を仰ぐところに龍岡村、九和村、鴨部村、鈍川村の 4 つの農山村があり、昭和 29 年 3 月 31 日、これらの 4 つの村が合併して玉川村となった。それぞれの村には小規模の中学校があったが、施設・設備の充実と教育効果を願って、県下第 1 号の統合中学校が昭和 32 年 4 月に実現した。昭和 37 年 4 月 1 日に町制を施行して玉川町にあり、以来、町挙げての教育優先施策に支えられている。

平成 4 年度には内装に桧を使用した鉄筋 3 階建の校舎が新築され、平成 5 年度には体育館が完成した。また、平成 9 年 1 月に国道 317 号線が、さらに平成 11 年 5 月に「しまなみ海道」が開通し、人や文化の交流も盛んになってきた。平成 17 年 1 月 16 日に周辺 11 市町村との合併で今治市立玉川中学校となり、現在に至っている。本校では、これまで受け継がれてきた地域のすばらしい自然や文化を大切にしながら、他方では、新しい文化に触れる活動を積極的に取り入れる教育を進めている。そして、地域、学校、家庭が一体となり、次代を担う「人や自然と和し、自分を磨き、夢を結ぶ生徒の育成」に力を注いでいる。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 32 年	4 月	玉川中学校設置	昭和 41 年	8 月	プール落成
昭和 33 年	4 月	本館落成、体育館落成	平成 5 年	2 月	新校舎完成
昭和 36 年	5 月	調理室、工作室、音楽室落成			

36_大西中学校



所在地：今治市大西町九王甲 2280 番地の 1

TEL：0898-53-2038

校長：田中 和英

教頭：村上 俊也

【学校の現況】

校地面積	21,690 m ²	生徒数	218 人
（うち運動場	11,959 m ² ）	学級数	10 教室
校舎面積	4,910 m ²	（うち特別支援学級	3 教室）
屋内運動場	1,535 m ²	教職員	31 人



【特色】

校訓の「開拓」と学校精神の「本領に生きる」を礎として、「文武両道」をモットーに、自分のよさを掘り起こし、練磨して社会に貢献できる人間の育成に努めている。生徒は明るく素直で、元気のよい挨拶ができる。中には自己表現が苦手で人間関係に戸惑う生徒もいるが、お互いに支え合い、認め合いながら明るく活動している。異年齢交流や職場学習体験などの活動を充実させ、自己肯定感や自己有用感を育てている。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 38 年	4 月	統合により大西中学校創立	昭和 59 年	2 月	新館校舎増改築
昭和 39 年	9 月	新校舎完成	平成 21 年	11 月	新校舎竣工
昭和 40 年	9 月	体育館完成	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置
昭和 52 年	3 月	給食センター新築移転			

37_菊間中学校



所在地：今治市菊間町浜 2628 番地 1

TEL：0898-54-2069

校長：浜本 正樹

教頭：角尾 貴裕



【学校の現況】

校地面積	22,246 m ²	生徒数	88 人
(うち運動場	15,403 m ²)	学級数	5 教室
校舎面積	4,292 m ²	(うち特別支援学級	2 教室)
屋内運動場	1,330 m ²	教職員	19 人

【特色】

菊間は、「加茂神社の祭礼（お供馬）」や「遍照院の厄除け大祭」に代表されるように、伝統的な信仰や行事を重んじる地域であり、700 年余りの伝統を持つ「菊間瓦」とともに歩んできた町である。さらに、県内では他の市町村に先駆けて人権・同和教育に熱心に取り組んできた地域でもあり、学校でも当時から人権・同和教育を学校教育の中核に位置づけた取組を推進してきた。さらにそれよりも早く、生徒の健全育成の視点から部活動の果たす役割に注目し、学校・地域をあげて熱心に活動してきた。

そのため、伝統を重んじる気風、人権を大切にしようとする意識、質実剛健を尊び礼儀を重んじる意識はかなり高い。菊間中学校生徒の自慢出来る事は、大きな声であいさつができ、大きな声で歌が歌えることであり、集団行動コンテストなどを通して、クラスが一つになり、すばらしい校風を引き継ぐ心が自然に育っているところである。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 45 年	4 月	菊間中、亀岡中	名目統合	平成 9 年	8 月	校舎大規模改修工事完了
昭和 46 年	11 月	新校舎落成開校式	実質統合	平成 10 年	9 月	体育館改修工事完了
昭和 47 年	6 月	体育館完成		平成 25 年	7 月	合併浄化槽工事完成
昭和 54 年	9 月	プール完成		平成 26 年	9 月	校舎耐震補強及び改修工事完成
昭和 61 年	1 月	柔剣道場完成		令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置

38_大島中学校

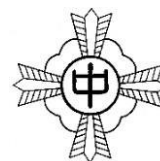


所在地：今治市吉海町幸新田 250 番地

TEL：0897-84-2706

校長：梶川 直樹

教頭：越智 信雄



【学校の現況】

校地面積	21,157 m ²	生徒数	98 人
(うち運動場	12,519 m ²)	学級数	4 教室
校舎面積	3,103 m ²	(うち特別支援学級	1 教室)
屋内運動場	1,466 m ²	教職員	21 人

【特色】

地域に根ざした教育活動を継承することによって「地域に学び、地域とともに育つ」心身ともに健やかな生徒の育成を目指し、保護者や地域の人々の協力を得ながら活動を実践する。

- 身近な自然環境や郷土の文化から学ぶことをテーマにした総合的な学習の時間の充実を図る。
- 地域行事や特色ある各種の体験活動への参加を通して、ふるさとを愛し、支えることによって文化の伝承に貢献しようとする生徒を育てる。
- 地域と学校が協働して持続可能な教育活動を確立することで働き方改革への理解を促進するとともに、次代の担い手を育成するという当事者意識の醸成に努める。
- 吉海小学校・宮窪小学校と協働しながら、大島中学校区で一つの学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして環境を整備し、活動を推進していく。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成 27 年	4 月	統合により大島中学校創立	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置
---------	-----	--------------	--------	-----	-------------

39_伯方中学校



所在地：今治市伯方町木浦甲 4134 番地 1

TEL：0897-72-1055

校長：高橋 靖

教頭：垂水 上司

【学校の現況】

校地面積	27,888 m ²	生徒数	90 人
（うち運動場	14,934 m ² ）	学級数	4 教室
校舎面積	4,669 m ²	（うち特別支援学級	1 教室）
屋内運動場	1,541 m ²	教職員	17 人



【特色】

伯方町は風光明媚な瀬戸内海、芸予諸島にあり、本州と四国を結ぶ西瀬戸自動車道（しまなみ海道）のほぼ中央に位置している。今治港から快速船で約 35 分（海上約 23km）で伯方島木浦港に着く。

島の周りは、32.245km で、広さは 20.82km² である。標高 304m の宝股山（ほこさん）を中心に、山麓に広がる校地は花崗岩の風化した砂質土で、果樹栽培に適している。

産業では、塩田と機帆船の町として知られたが、機帆船は大型鋼船となり海運業とともに造船業も盛んである。また、昭和 31 年に国立公園に編入された伯方八景を中心に観光の町としても発達した。平成 23 年には島民が新たに選んだ「新伯方八景」の案内板が設置された。

平成 20 年 4 月に伯方中学校（旧）と西伯方中学校が統合され、場所は両校の中心地点（木浦：現在地）に移り、木材がふんだんに使用された新校舎が建設された。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

昭和 22 年	4 月	伯方中学校創立	平成 20 年	4 月	西伯方中統合、新校舎開校
昭和 40 年	4 月	新校舎落成	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置

40_大三島中学校



所在地：今治市上浦町井口 5610 番地

TEL：0897-87-3400

校長：近藤 勲

教頭：渡邊 伸

【学校の現況】

校地面積	27,532 m ²	生徒数	65 人
（うち運動場	17,372 m ² ）	学級数	4 教室
校舎面積	4,260 m ²	（うち特別支援学級	1 教室）
屋内運動場	1,602 m ²	教職員	19 人



【特色】

本校は平成 27 年度に大三島中学校・上浦中学校の統合により、元上浦中の敷地内に島の名称をとり「今治市立大三島中学校」として設立・開設された。大三島は瀬戸内海国立公園のほぼ中央に位置する愛媛県最大の島で、大山祇神社を中心とした観光の島である。保護者の職業は、柑橘栽培を主とした農業経営が大半を占め、大部分が第二種兼業農家である。

生徒は、大三島全土という大変広い校区から、バス・自転車・徒歩の 3 方法で通学している。特に旧大三島中学校の生徒はバスで通学時間が 30 分以上かかる生徒もいる。

生徒は明るく誠実で純朴であるが、受動的・消極的な面があり、保護者は積極性とたくましさの育成を強く望んでいる。従って、学校と地域が一体となり、「思いやりの心と主体性を育てる」教育を目指す学校教育を展開している。生徒数は統合により増加したものの、産業基盤の弱さによる過疎化現象の進行にともない今後減少していく見込みである。保護者や地域の人の教育に対する関心、期待は非常に高く、学校の教育活動に対して協力的である。

【沿革】（ハード整備関係抜粋）

平成 27 年	4 月	統合により大三島中学校設立	令和 2 年	3 月	全普通教室エアコン設置
---------	-----	---------------	--------	-----	-------------



国勢調査集計結果 令和2年国勢調査結果

1 人口・世帯数の推移（各年10月1日現在）

(1) 年次別

年次	人口			世帯数	1世帯当たり人員
	総数	男	女		
昭和45年	189,918人	88,441人	101,477人	52,739世帯	3.60人
昭和50年	196,817人	92,654人	104,163人	58,365世帯	3.37人
昭和55年	197,818人	93,005人	104,813人	61,800世帯	3.20人
昭和60年	197,774人	92,813人	104,961人	63,418世帯	3.12人
平成2年	191,504人	89,317人	102,187人	64,781世帯	2.96人
平成7年	185,435人	86,377人	99,058人	66,692世帯	2.78人
平成12年	180,627人	83,925人	96,702人	68,626世帯	2.63人
平成17年	173,983人	80,745人	93,238人	69,015世帯	2.52人
平成22年	166,532人	77,893人	88,639人	68,249世帯	2.44人
平成27年	158,114人	74,336人	83,778人	67,105世帯	2.36人
令和2年	151,672人	71,799人	79,873人	68,328世帯	2.22人

(2) 旧市町村別

	令和2年		平成27年		総人口の対平成27年比		平成22年	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口増減数	人口増減率	人口	世帯数
今治市	151,672人	68,328世帯	158,114人	67,105世帯	△ 6,442人	△4.07%	166,532人	68,249世帯
旧今治市	105,326人	47,468世帯	107,443人	45,741世帯	△ 2,117人	△1.97%	111,136人	46,001世帯
旧朝倉村	3,970人	1,613世帯	4,253人	1,614世帯	△ 283人	△6.65%	4,557人	1,613世帯
旧玉川町	4,564人	1,921世帯	4,919人	1,914世帯	△ 355人	△7.22%	5,332人	2,013世帯
旧波方町	8,146人	3,352世帯	8,717人	3,403世帯	△ 571人	△6.55%	9,069人	3,334世帯
旧大西町	8,084人	3,657世帯	8,426人	3,447世帯	△ 342人	△4.06%	8,781人	3,489世帯
旧菊間町	5,173人	2,245世帯	5,852人	2,360世帯	△ 679人	△11.60%	6,582人	2,537世帯
旧吉海町	3,172人	1,600世帯	3,540人	1,654世帯	△ 368人	△10.40%	4,049人	1,759世帯
旧宮窪町	2,209人	958世帯	2,527人	1,058世帯	△ 318人	△12.58%	3,066人	1,193世帯
旧伯方町	5,715人	2,733世帯	6,359人	2,883世帯	△ 644人	△10.13%	6,936人	2,974世帯
旧上浦町	2,388人	1,249世帯	2,734人	1,340世帯	△ 346人	△12.66%	3,088人	1,439世帯
旧大三島町	2,575人	1,322世帯	2,941人	1,459世帯	△ 366人	△12.44%	3,406人	1,619世帯
旧関前村	350人	210世帯	403人	232世帯	△ 53	△13.15%	530人	278世帯

2 年齢別人口（各年10月1日現在）

年齢区分	令和2年		平成27年		平成22年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
年少人口（0～14歳）	16,907人	11.15%	18,816人	11.90%	20,842人	12.52%
生産年齢人口（15～64歳）	79,655人	52.52%	86,057人	54.43%	97,664人	58.65%
老年人口（65歳以上）	53,977人	35.59%	52,636人	33.29%	47,792人	28.70%
年齢「不詳」 ※生年月日不明分	1,133人	0.75%	605人	0.38%	234人	0.14%
計	151,672人	100.00%	158,114人	100.00%	166,532人	100.00%

3 産業別就業者数（令和2年10月1日現在）

区分		男	女	計	割合
第一次産業	農業	1,986人	1,182人	3,168人	4.52%
	林業	30人	3人	33人	0.05%
	漁業	370人	60人	430人	0.61%
	小計	2,386人	1,245人	3,631人	5.19%
第二次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	73人	18人	91人	0.13%
	建設業	4,238人	885人	5,123人	7.32%
	製造業	11,670人	4,961人	16,631人	23.75%
	小計	15,981人	5,864人	21,845人	31.20%
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	230人	34人	264人	0.38%
	情報通信業	266人	140人	406人	0.58%
	運輸業、郵便業	3,021人	710人	3,731人	5.33%
	卸売業、小売業	4,613人	5,929人	10,542人	15.06%
	金融業、保険業	486人	839人	1,325人	1.89%
	不動産業、物品賃貸業	410人	365人	775人	1.11%
	学術研究、専門・技術サービス業	1,006人	688人	1,694人	2.42%
	宿泊業、飲食サービス業	1,096人	2,177人	3,273人	4.67%
	生活関連サービス業、娯楽業	810人	1,143人	1,953人	2.79%
	教育、学習支援業	1,192人	1,841人	3,033人	4.33%
	医療、福祉	2,343人	7,814人	10,157人	14.51%
	複合サービス事業	526人	346人	872人	1.25%
	サービス業(他に分類されないもの)	1,905人	1,190人	3,095人	4.42%
	公務(他に分類されるものを除く)	1,406人	644人	2,050人	2.93%
	小計	19,310人	23,860人	43,170人	61.65%
分類不可能の産業		776人	600人	1,376人	1.97%
合計		38,453人	31,569人	70,022人	100.00%

[詳細な調査結果は統計局ホームページへ \(外部サイト\)](#)

お問い合わせ

市民が真ん中課

電話番号：0898-36-1503
メール：simingamannaka@imabari-city.jp
〒794-8511 今治市別宮町1丁目4番地1 本庁第2別館6階